

科目ナンバー	EDU-1-034-j			科目名	初等体育実技		
教員名	岸 一弘			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	幼児期及び児童期は神経系の発達が目覚ましい時期といえます。神経系の発達が著しいこの時期に、全身の筋肉を使ったダイナミックな運動や感覚受容器にさまざまな刺激を与える多様な運動を経験させることが大切です。これらはコーディネーション能力を高める運動(以下、Cdn運動と表記します)といわれています。本授業ではそれらの内容も含めて、理論と実践の両面から学修します。						
到達目標	学習指導要領に基づき、小学校体育科(体育の授業)で取り上げられるスポーツ・運動種目に関わる実習を通して、その運動技術や基本戦術などを学修するとともに、小学生に対して示範及び指導(支援)ができるようになることを目標とします。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	個人及び集団(班やグループ)での実技をおこなうとともに、適宜、指導法(示範を含む)や関連事項(競技ルールなど)について解説を加えます。つまり、実技と理論の両面を学修することが求められます。毎回、宿題や課題を与えるので次回までに必ずおこなってこること。 本授業は実技が主となるため、学外での課題はほとんどありません。しかしながら、指導法等に関する課題の提出を求める場合があります。それらの課題に対するフィードバックは適宜おこないます。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修		○	
受講条件 前提科目	小学校教員免許の取得希望者のための授業です。受講生は毎回、運動着及び運動靴(体育館用・外履き)を持参して、授業開始までに更衣を済ませておいてください。運動に相応しくない服装と判断された場合は欠席扱い、または見学にします。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(40%)、授業での活動の様子・運動技能の習熟度(以上の2項目を60%)を総合的に評価します。なお、全授業時数の3分の1以上の欠席者は不合格にします。 運動課題への取り組みでは、グループワーク時において、コミュニケーションスキルとしての伝え合う力や協働する力、自己を理解する力や抑制する力、ならびに共生のための態度を総合的に評価します。また、運動技能の習熟過程における諸問題に主体的に取り組める実践的スキルを評価します。						
教材	小学校体育科の教材となりうるスポーツ・運動種目や優れた先達の典型教材を主に取り上げます。また、補説資料は前週末までにMoodle上にアップするので、各自でダウンロードのうえ保管しておいてください。						
参考図書	『小学校学習指導要領解説体育編』『体育授業を変えるコーディネーション運動65選』『子どものつまずきがみるみる解決するコーディネーション運動 準備運動編』その他は適宜、紹介します。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	運動遊びを理解する(Cdn運動を含む)。(シラバス授業)						
授業外学修内容	小学校低学年の運動遊びについて調べておくこと。					時間数	2
2週目							
授業学修内容	運動遊びを実践する(Cdn運動を含む)。集団行動及び室内での運動遊びを取り上げる。						
授業外学修内容	小学校低学年の運動遊びについてまとめておくこと。集団行動について学修しておくこと。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	ゲームを理解する(Cdn運動を含む)。集団行動及び室内でのゲームを取り上げる。						
授業外学修内容	小学校低中学年のゲームについて調べておくこと。					時間数	2
4週目							
授業学修内容	ゲームを実践する(Cdn運動を含む)。集団行動及び屋外でのゲームを取り上げる。						
授業外学修内容	小学校低中学年のゲームについてまとめておくこと。					時間数	2

5週目			
授業学修内容	陸上運動を理解する(Cdn運動を含む)。集団行動及び短距離走を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校高学年の陸上運動について調べておくこと。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	陸上運動を実践する(Cdn運動を含む)。集団行動及び走り高跳びを取り上げる。		
授業外学修内容	小学校高学年の陸上運動で取り上げることが多い教材の指導法を調べておくこと。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	陸上運動を実践する(Cdn運動を含む)。集団行動及びハードル走を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校高学年の陸上運動についてまとめておくこと。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	器械運動を理解する(Cdn運動を含む)。マット運動を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校の器械運動に取り上げられる教材について調べておくこと。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	器械運動を実践する(Cdn運動を含む)。鉄棒運動を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校の器械運動に取り上げられる教材の指導法について調べておくこと。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	器械運動を実践する(Cdn運動を含む)。跳び箱運動を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校の器械運動に取り上げられる教材についてまとめておくこと。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	ボール運動を理解する(Cdn運動を含む)。ゴール型を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校のボール運動について調べておくこと。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	ボール運動を実践する(Cdn運動を含む)。ネット型を取り上げる。		
授業外学修内容	小学校のボール運動の指導法についてまとめておくこと。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	表現運動・リズムダンスを理解する(Cdn運動を含む)。班ごとに曲を決める。		
授業外学修内容	班ごとに、表現運動またはリズムダンスの創作活動に励むこと。その1	時間数	3
14週目			
授業学修内容	表現運動・リズムダンスを実践する(Cdn運動を含む)。表したい内容にふさわしい動きやリズムにのって踊るための活動をする。		
授業外学修内容	班ごとに、表現運動またはリズムダンスの創作活動に励むこと。その2	時間数	2
15週目			
授業学修内容	表現運動・リズムダンスを実践する(Cdn運動を含む)。自分や班の特徴を生かした表現や踊りに取り組み、発表の仕方を工夫する。		
授業外学修内容	これまでの創作活動と発表会を通して、わかったことをまとめておくこと。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		31	
その他に必要な自習時間		59	

Number	EDU-1-034-j	Subject	on			
Name	岸 一弘 (Kishi Kazuhiro)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2	
Course outline	0 Infancy and childhood are periods where the children's nervous system remarkably develops. In these periods of remarkable development of the nervous system, it is important to have children experience dynamic exercises that use all their muscles and varied exercises that stimulate their sensory receptors in various ways. These are called exercises that improve coordination (herein after, written as Cdn exercise). In this course, we will address that content and more.?					